

大田区長選挙公報

大田区選挙管理委員会

(1)

ムダな開発区長から 福祉・暮らし第一 区民にやさしい区長へ

日本共産党推せん

年2.5億円赤字

税金ため込み千億円 「財政がきびしい」と言い、福祉・区民サービスを切り捨て、ため込んだお金は千億円以上になります。

申し込んだのに 子ども4割を断る異常 待機児ゼロにするため認可保育園を10増やします。ため込んだ区民の税金から23億円を使えばできます。

入所を1500人も 待っている異常 待機者ゼロにするため特養ホームを10増やします(250億円)。区内の定員1400人では足りません。

75歳以上に医療差別 75歳以上の医療費を無料にします(1年で53億円)。高い保険料が払えず医療に行けない人が増えています。

払えない子どもが 悲しい思い

小中学校の給食費を無料にします(1年で14億円)。払えない生徒が大勢います。給食も教育の一環です。

町工場の訴えを 放置していいのか

日本の宝・町工場の集積をたて直します。これは大田区政の歴史的使命。予算を大幅に増やします。

憲法に根ざした区政に

- ブラック企業をなくす、ブラックなみの区役所から直す
- 小児科・産科の充実
- 国保料1万円の値下げ
- 障害者施設の利用料を値下げ
- 教科書採択は父母と教師の声を反映
- 最悪の事態に備えた防災と減災

安倍政権の「戦争する国づくり」NO!

大田区民をひとりも戦場に送りません

大田区は「平和憲法を擁護する」と宣言した都市です(1984年)。ところが現区長は「国政の問題だ」と背を向けています。

消費税の再増税反対! 原発を再稼働しないように政府に要求します

《推せんします》

東京南部法律事務所弁護士 坂井興一
大田病院 院長 田村直
日本共産党委員長 志位和夫

《経歴》

- 大田区千鳥生まれ、千鳥小、大森七中、都立南高卒
- 東京都立大学(現首都大学東京)理学部数学科卒
- 雪谷民主商工会事務局長31年間



無所属

ばば良彰

よしあき

年2.5億円赤字

とん挫寸前のムダな大型開発 新空港線「蒲々線」計画を中止します

都の優先整備路線からはずされませんでした。しかし、すでに15億円も積み立て、新年度予算でも5億円積み増すことを決めていきます。1080億円もかけて不便な鉄道を建設していいのか!と区民から反対の声があがっています。毎年の赤字は区民の税金で穴埋めすることになってしまっています。

現区長

今こそ「決断と発進」!

ともにつくりたい 魅力的で住み続けたい おおた 10の約束

- ★2040年を見据え、新「おおた未来プラン」をつくる
- ★安心して産み、育て、学びやすく、夢と希望のもてる子育て政策を強化
- ★住み慣れた地域で安心して暮らせる、医療と福祉の連携と充実
- ★観光の強化と地域産業のブランド化を進め、世界に発進
- ★区民とともに、大田区の歴史・文化と芸術を振興し心豊かなまちづくり
- ★羽田空港を活かし、日本再生の戦略拠点として、国際都市「大田区」をつくる
- ★防災力を強化し、犯罪ゼロをめざし、安全安心なまちづくり
- ★2017年 大田区政70周年に地域力・国際都市宣言をする
- ★2020年 東京オリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツ健康都市をつくる
- ★戦略的行政運営で安定した自治体経営を行い、役所体質の改善

任期中にやりました! 10の主な実績

- 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン」を策定
- リーマンショックや東日本大震災を乗り越えて、大田区財政の健全性を向上
- 自治会・町会、区民、NPO、団体等の地域活動を積極的に支援して地域力の向上
- 2012年「大田区スポーツ健康都市」宣言、「大田区総合体育館」開設
- 「国家戦略特区」に大田区全域が国から指定
- 保育サービス定員3576人増を実現
- 区内初! 防災活動拠点の防災公園を東糞谷に整備
- 大田区への観光情報アクセス50万件から800万件にUP
- 区立小・中学校の児童生徒の基礎学力定着を推進
- 障がい者の相談や生活、就労の支援を一元化して行う、大田区障がい者総合サポートセンター「さぼーとびあ」を開所

推薦: 自民党・公明党・連合東京



無所属

まつばら忠義

ただよし 72歳

平成27年4月26日執行

大田区長選挙公報

大田区選挙管理委員会

(2)

投票日 4月26日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

開票日 4月27日(月)

(この選挙公報は、大田区議会議員及び大田区長の選挙における選挙公報の発行に関する条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)